



S1 Pro

Multi-position PA System

取扱説明書

安全上の重要な注意事項

- 安全上の留意項目および使用方法をよく読み、いつでも参照できるように保管してください。
- 安全上の重要な注意事項**
- お使いの製品（アクセサリ、交換パーツを含む）の詳細は、取扱説明書を参照してください。オンラインで入手できます。
- このガイドをよくお読みください。
 - 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
 - すべての注意事項に留意してください。
 - すべての指示に従ってください。
 - 本製品を水の近くで使用しないでください。
 - 清掃の際は乾いた布を使用してください。
 - 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
 - ランジェータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置（アンプを含む）の近くには設置しないでください。
 - 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損うような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の端子または3番目の棒は、お客様の安全を守る機能を果たしています。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気技師に連絡して新しいコンセントに取り替えてください。
 - 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーパープラグ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
 - 必ず製造元より指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
 - 製造元の指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、台以外は使用しないでください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
 - 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
 - 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体の侵入や内部への異物の落下、雨や水蒸気との接触、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意:

-  この記号は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることを示します。
-  この記号は、このガイドに製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを示します。
-  のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。
-  この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

すべてのボーズ製品は、各地域、州、連邦、および業界の規制に従って使用する必要があります。各地の建築に関する条例や規則など、適用されるすべての法律に従って製品を設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。

火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や液体のある場所、湿度の高い場所で製品を使用しないでください。

水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶など、液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。

火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を製品の上や近くに置かないでください。

インバータ電源は使用しないでください。

車内や船上などで使用しないでください。

許可なく製品を改造しないでください。

バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。

本製品に付属するバッテリーは、Bose SI Pro Multi-position PA system 専用です。

本製品に付属するバッテリーは、取り扱いを誤った場合、火災や化学火傷の原因になる恐れがあります。

本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。

火災や火傷の原因になる恐れがあります。分解や破損、焼却を行ったり、45°C以上の熱を与えないようにしてください。メーカーの指示に従ってください。

純正バッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの入手方法はカスタマーサービスまでお問い合わせください。

万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

Bose SI Pro system を不安定な三脚スタンドで使用しないでください。本製品と三脚（スタンド）は、35 mm 径のネジで固定するように設計されています。全体のサイズが 241 x 279 x 330 mm、最低重量が 71 kg のスピーカーを確実に保持できる三脚（スタンド）を使用してください。SI Pro system のサイズと重量を支えるように設計されていない三脚/スタンドを使用すると、不安定で危険な状態となり、負傷につながる可能性があります。

規制に関する情報

外形寸法 (H x W x D) 330 x 241 x 286 mm / 質量: 71 kg

充電対応温度: 0°C-42°C

動作対応温度: -20°C-45°C

This product meets all EN55103-2 immunity requirements for E1 electromagnetic environment.

This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 cm between radiator and your body

Shielded cables are required to maintain regulatory compliance

Provide an earth connection or ensure the socket outlet incorporates a protective earthing connection before connecting the plug to the mains socket outlet.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Information About Products That Generate Electrical Noise (FCC Compliance Notice for US)

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user’s authority to operate this equipment. This device complies with part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Management Regulation for Low-power Radio-frequency Devices

Article XII

According to “Management Regulation for Low-power Radio-frequency Devices” , without permission by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power, or alter original characteristics, as well as performance, to an approved low power radio-frequency device.

Article XIV

The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere with legal communications; If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved. The said legal communications means radio communications in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.

 Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance.

 この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporation はここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

製品の電力状態

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、以下の規範または文書に準拠しています。Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版 Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	≤ 0.5 W	該当なし*
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	≤ 20 分	該当なし*
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	該当なし	該当なし*
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Bluetooth* 無効化するには、Bluetooth ボタンを10秒間長押しして、ペアリングリストを消去します。有効化するには、Bluetooth ソース機器とペアリングします。 *本製品は Bluetooth* 接続にネットワークスタンバイモードを使用しません。また、Wi-Fi*やEthernet経由でネットワーク構成を行うことはできません。	

運用周波数帯: 2402 ~ 2480 MHz

Bluetooth: 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

Bluetooth Low Energy: 最大電力スペクトル密度 10 dBm/MHz EIRP 未満

 This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health, and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.



商電池請回収



製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「7」は2007年または2017年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

メキシコにおける輸入元: Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255(5202) 3545

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan. Phone Number: +886-2-2514 7676

英国における輸入元: Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

Bose Corporation: 1-877-230-5639

Apple および Apple のロゴは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Bluetooth* のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Bose Corporation はこれらの商標をライセンスに基づいて使用しています。

Android は Google Inc. の商標です。

Google Play および Google Play のロゴは Google LLC の商標です。

©2022 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

控えとして、製品の情報を以下の欄にご記入ください。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

保証情報

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

保証の詳細については、global.bose.com/warranty をご覧ください。

概要	4
製品概要	4
特長とベネフィット	4
同梱物	4
オプションのアクセサリ	4
システム構成	5
高い設置位置で使用する	5
後ろに傾けて使用する	5
モニターとして使用する	5
スピーカースタンドに取り付けて使用する	5
Bose® Connect アプリ	6
機能	6
システムセットアップ	7
接続とコントロール	7
電源の接続	8
音源の接続	8
チャンネル1および2コントロール	8
チャンネル3コントロール	8
バッテリーの充電	9
クイック充電	9
バッテリー残量インジケータ	9
スピーカースタンドの使用	9
接続例	10
高い設置位置で使用する	10
後ろに傾けて使用する	11
モニターとして使用する	12
スピーカースタンドに取り付けて使用する	13
汎用PAとして使用する	14
ステレオ	14
デュアルモノ/デイジーチェーン	15
お手入れについて	16
バッテリーを交換する	16
S1 Proのお手入れについて	17
故障かな?と思ったら	17
S1 Proの仕様	18

概要

Bose® S1 Pro Multi-position PA systemをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。少人数の聴衆に向けて演奏する時や、自分でイベントを主催する時、また自宅で楽しむ時も、いつでも優れたサウンドをお楽しみいただけます。

このガイドでは、S1 Pro systemの詳細な設定とセットアップ、およびさまざまなオーディオソースへの接続方法について説明します。ヒント、テクニック、よく寄せられる質問を含む、システムの使用に関するその他の情報については、www.Bose.com/livesoundをご覧ください。

製品概要

Bose S1 Pro Multi-position PA systemは超小型でポータブル。いつでも、どこでも最高の音質を提供します。ミュージシャン、DJのためのスピーカーとしてはもちろん、PA機材としても設計されたS1 Proは、フロアモニターやアンプ、メインミュージックシステムとしても使える究極のオールインワンPAシステムです。

設置ポジションに応じて自動でイコライザーを切り替えるAuto EQを搭載しているため、フロア、テーブル、スタンドに設置しても、常にベストなサウンドを再現します。また、3チャンネルのミキサー、リバーブ、Bluetooth®ストリーミング再生、ToneMatch®プロセッシングを搭載しており、いつでもどこへでも持ち運べるミュージックシステムとして使用できます。

特長とベネフィット

軽量で持ち運びやすい: S1 Proは、重さ7.1 kgの軽量設計。頑丈なボディで移動も安心。車からライブ会場に簡単に持ち運べます。

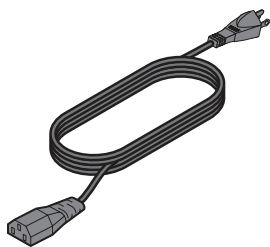
多用途かつシンプル: S1 Proは、フル機能のリバーブ付き3チャンネルミキサーを搭載し、Bluetooth®ストリーミングにも対応。モバイル機器からワイヤレスで音楽を再生しているときも、マイクやアコースティックギターには最適なサウンドをToneMatch®プロセッシングが実現します。付属の充電式リチウムイオンバッテリーを使用すると、どこでも利用可能な究極のポータビリティを実現できます。

適応性: マルチポジションにより、アプリケーションに最適なカバレッジパターンを提供すると同時に、Auto EQにより、あらゆる設置方法でも最適なサウンドを維持します。Bose® Connectアプリをダウンロードすれば、2台目のシステムに+Bluetooth®でステレオ音声をストリーミング再生できるステレオモードなど、様々な機能やオプションを利用することができます。

サイズを超えた迫力の音響性能: S1 Proは小型パッケージで高出力を実現する究極のオールインワンPAで、フロアモニター、練習用のアンプ、およびメインミュージックシステムに最適です。

同梱物

S1 Proの梱包箱には、S1 Pro systemと電源ケーブルが1個ずつ含まれています。



電源ケーブル

オプションのアクセサリ

S1 Pro用バックパック

S1 Pro用スリッパカバー

S1 Battery Pack

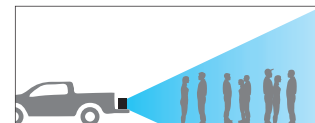
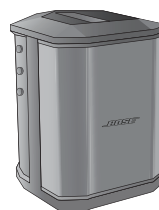
オプションの機器とアクセサリの詳細については、www.Bose.comをご覧ください。

システム構成

汎用性の高いBose® S1 Pro systemは、4つの独自のモードで動作します。Auto EQにより、システムが自動的にEQ補正を行い、各ポジションに最適な音質バランスを維持します。以下に挙げた例のように使用すると、アプリケーションに最適なモードにすばやく切り替わります。

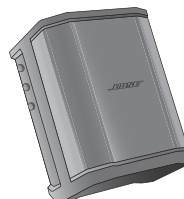
高い設置位置で使用する

テーブルなどの高さのある設置面にS1 Proを設置します。これにより、聴衆全体に明瞭かつ均等にサウンドが拡がり、聴衆の1人1人がシステムの豊かなサウンドを楽しむことができます。



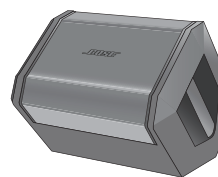
後ろに傾けて使用する

聴衆との距離が近い演奏では、S1 Proを後ろに傾けます。最適なサウンドを届けるためには、聴衆への音の妨げにならないよう演奏者がスピーカーの片側に立つか座る必要があります。



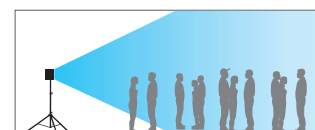
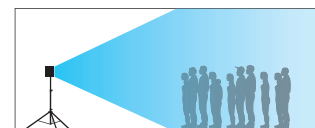
モニターとして使用する

S1 Proを個人用のフロアモニターとして使用するには、S1 Proを演奏者の前方の地面に水平に配置します。スピーカーを横向きにして傾けます。



スピーカースタンドに取り付けて使用する

一般的なスピーカーとして使用するには、1台または2台のS1 Pro systemsをスピーカースタンド（別売）に配置します。



注： 選択したモードに合わせて、ボーズのロゴを反時計回りに回転させてください。

Bose® Connectアプリ

Bose® Connectアプリをダウンロードすれば、2台目のシステムにワイヤレスでステレオ音声をストリーミング再生できるステレオモードなど、様々な機能やオプションを利用することができます。

機能

1回のスワイプ操作でモバイル機器に簡単に接続し、複数のモバイル機器を切り替えることもできます。

2台のスピーカーを連動して、パーティモードまたはステレオモードで再生できます。

ほとんどのAppleおよびAndroidシステムに対応します。

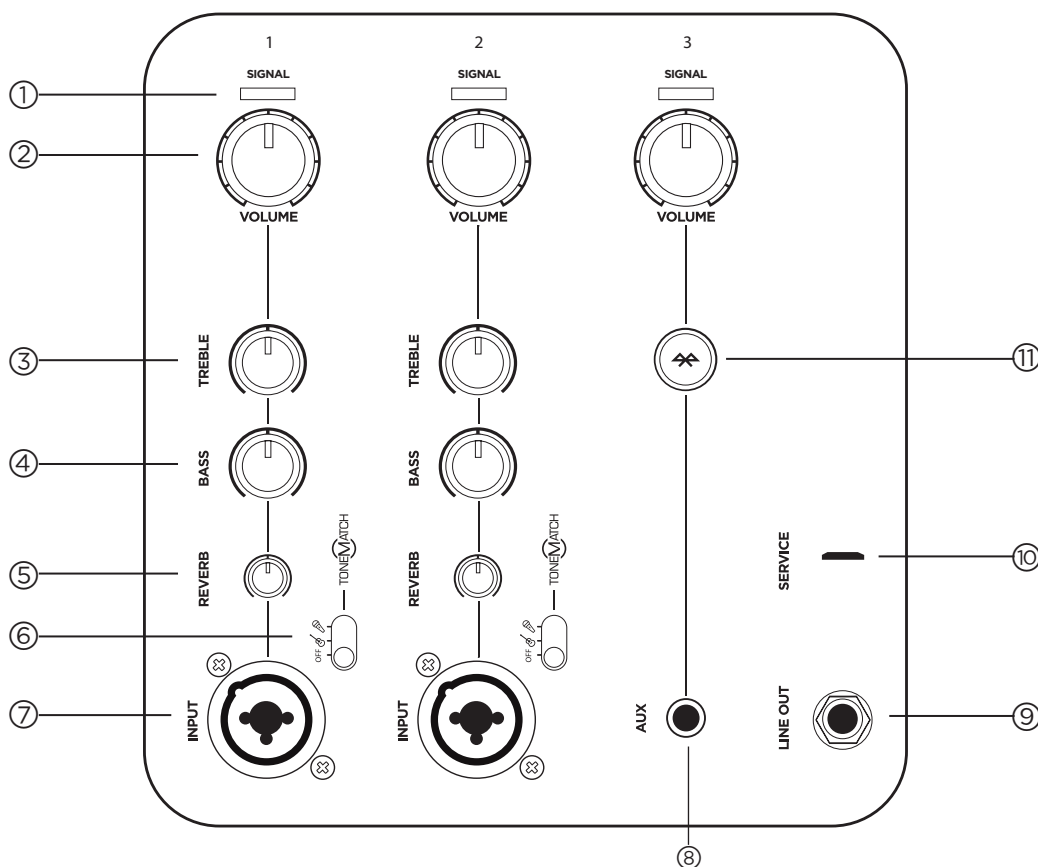
最新のソフトウェアで本製品を常に最新の状態に保つことができます。



システムセットアップ

接続とコントロール

S1 Proのコントロールパネルには、操作に必要なコネクタ、コントロール、インジケータがあります。



チャンネル1&2入力はいくつと楽器に使用します。ToneMatch®シグナルプロセッシングが採用されており、マイクと楽器の最高の音を引き出すことができます。チャンネル3は、Bluetooth®接続およびラインレベル入力に使用します。

①「**SIGNAL**」シグナル／クリップインジケータ：入力信号の状態を色で表示します。

緑色：信号あり

赤：信号にクリッピングが発生している

注：信号でクリッピングが発生しないように、対応する音量レベルを下げてください。

②「**VOLUME**」音量調節：マイク、楽器、オーディオソースの音量を調節します。

③「**TREBLE**」高音調節：マイクまたは楽器の高音バランスを調節します。

④「**BASS**」低音調節：マイクまたは楽器の低音バランスを調節します。

⑤「**Reverb**」リバーブ調節：マイクまたは楽器に適用されるリバーブの量を調節します。

⑥「**TONEMATCH**」スイッチ：スイッチを  または  の位置に移動させて、ToneMatchプリセットを有効にします。

⑦「**INPUT**」入力端子：マイク（XLR）ケーブルと楽器（TSアンバランス）ケーブルを接続するためのアナログ入力です。

⑧ **AUX**入力：3.5 mmのTRSケーブルを使用して、ラインレベルのオーディオソースを接続します。

⑨「**LINE OUT**」ライン出力：1/4インチTRSケーブルを使用して、ラインレベル出力を2台目のS1 Proのチャンネル1または2入力に接続し、モノラル2スピーカーのセットアップを構築します。

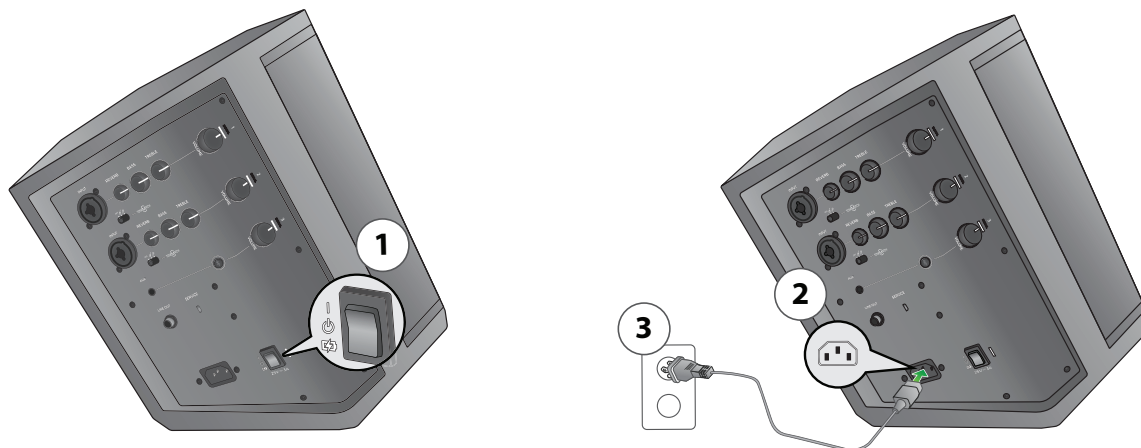
注：ライン出力はポストミックスです。

⑩「**SERVICE**」サービスポート：ボーズのサービススタッフのみが使用するマイクロUSBコネクタです。

⑪ **Bluetooth**ペアリングボタン：スマートフォン、タブレット、ノートPCなどのBluetooth対応機器とのペアリングをセットアップするために使用します。

電源の接続

1. 電源スイッチが**スタンバイ** (⏻) であることを確認します。
2. 電源コードをS1 Proのコネクターに差し込みます。
3. 電源コードのもう一方を、電源コンセントに差し込みます。
4. 電源スイッチを**オン** (⏻) にしてシステムの電源を入れます。



音源の接続

音源に接続する前に、該当するチャンネルの**音量調節**をいっぱいまで左に回しておきます。

チャンネル1および2コントロール

チャンネル1およびチャンネル2コントロールは、ダイナミックマイク、ギター、キーボード、その他あらゆる楽器で使用できます。

1. チャンネル1または2の**チャンネル**入力に音源を接続します。
2. 該当するチャンネルの**ToneMatch**スイッチをマイク  またはアコースティックギター  に合わせて、ToneMatchプリセットを適用します。
注: ToneMatch®プリセットにより、マイクまたはアコースティック・ギターの音が自動的に最適化されます。
3. マイクで話したり、楽器を演奏しながら、**音量調節**を右に回して、音量を目的のレベルに調節します。
4. マイクで話したり、楽器を演奏しながら、好みの音が得られるまで**高音、低音、リバーブ**コントロールを調節します。

チャンネル3コントロール

チャンネル3は、Bluetooth®対応機器およびラインレベルオーディオ入力で使用します。

Bluetoothペアリング

1. モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。
注: 通常、Bluetooth機能は設定メニューにあります。
2. **Bluetoothペアリング**ボタンを2秒間長押しします。
注: ペアリング準備が完了すると  が白く点滅します。
3. 機器リストからBose® S1 Pro systemを選択します。
注: 機器のペアリングが完了したら、 が白く点灯します。

注: ペアリングされているスマートフォンに着信があると、再生中の音楽は一時停止し、スマートフォンから着信音が聞こえます。S1 Proでは通話も通知も行われません。

AUX入力

3.5 mm (1/8インチ) のケーブルを使用して、ラインレベルの音源を**Aux**入力に接続します。

注: Aux入力に接続されたものは、Bluetooth接続の機器より自動的に優先されます。

バッテリーの充電

S1 ProをAC電源に接続しているときは、システム未使用時にバッテリーが充電されます。

クイック充電

AC電源に接続されている間は常時バッテリーが充電されますが、クイック充電を使用すると、バッテリーをより迅速に充電することができます。クイック充電を有効にするには、使用していないときに電源スイッチを（）に切り替えます。

バッテリー残量インジケータ

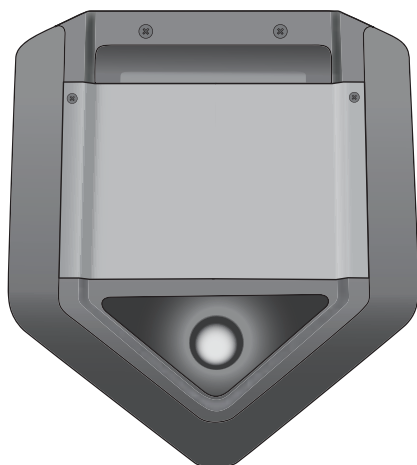
現在のバッテリー残量は電源のLEDで示されます。このインジケータはS1 Proに電源が入ると点灯します。また、**Bluetooth®ペアリング**ボタンを2回押すと、電源LEDインジケータが点滅して、バッテリー残量を確認できます。充電のインジケータについては、次の表を参照してください。

 X 2	LED Color	
 X 4	Blue	>75%
 X 3	Blue	50%~75%
 X 2	Blue	25%~49%
 X 1	Blue	10%~24%
 X 1	Red	<10%

注: S1 Proには、上記の表のステッカーが同梱されています。いつでも確認できるように、S1 Proの底面プレートにステッカーを貼り付けてください。

スピーカースタンドの使用

S1 Proシステムの底面には、スピーカーをスタンドに取り付けるためのポールカップがあります。ポールカップは、標準の35 mmポストに適合しています。S1 Proをスピーカースタンドに配置すると、自動的にEQを補正して、最適な音質バランスが維持されます。



警告: Bose® S1 Pro systemを不安定な三脚スタンドで使用しないでください。本製品と三脚（スタンド）は、35 mm径のネジで固定するように設計されています。全体のサイズが241 x 279 x 330 mm、最低重量が7.1 kgのスピーカーを確実に保持できる三脚（スタンド）を使用してください。S1 Pro systemのサイズと重量を支えるように設計されていない三脚／スタンドを使用すると、不安定で危険な状態となり、負傷につながる可能性があります。

接続例

S1 Proは多くの方法で使用できます。次のページに、一般的なセットアップの例を示します。

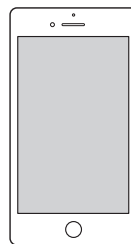
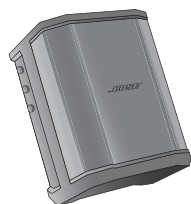
高い設置位置で使用する

S1 Proを室内前方の机の上に置いて、ビジネスプレゼンテーションを行ったり、テールゲートパーティーのためにピックアップトラックの荷台に置きます。マイクを接続して、マルチメディアプレゼンテーションのナレーションを行ったり、Bluetooth®対応のモバイル機器を使用してワイヤレスで音楽を聴きながら友人と盛り上がることができます。



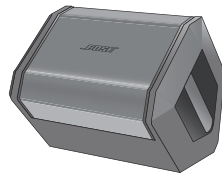
後ろに傾けて使用する

音楽演奏をする場合は、自分の後ろの地面に後ろに傾けてS1 Proを配置します。スピーカーを後ろに傾けると、より高い垂直カバレッジが生み出され、少人数の聴衆や通行人に最適です。Bluetooth®ストリーミング再生を使用して伴奏を流しながら、マイクやギターと一緒に演奏したりできます。



モニターとして使用する

フロアモニターとして使用する場合は、S1 Proを横向きに配置します。S1 Proを演奏者の方に向けて、個人用のモニターとして使用したり、メインPAシステムにミックスを送信して、演奏のためにEQとリバーブのダイヤル設定を行います。



スピーカースタンドに取り付けて使用する

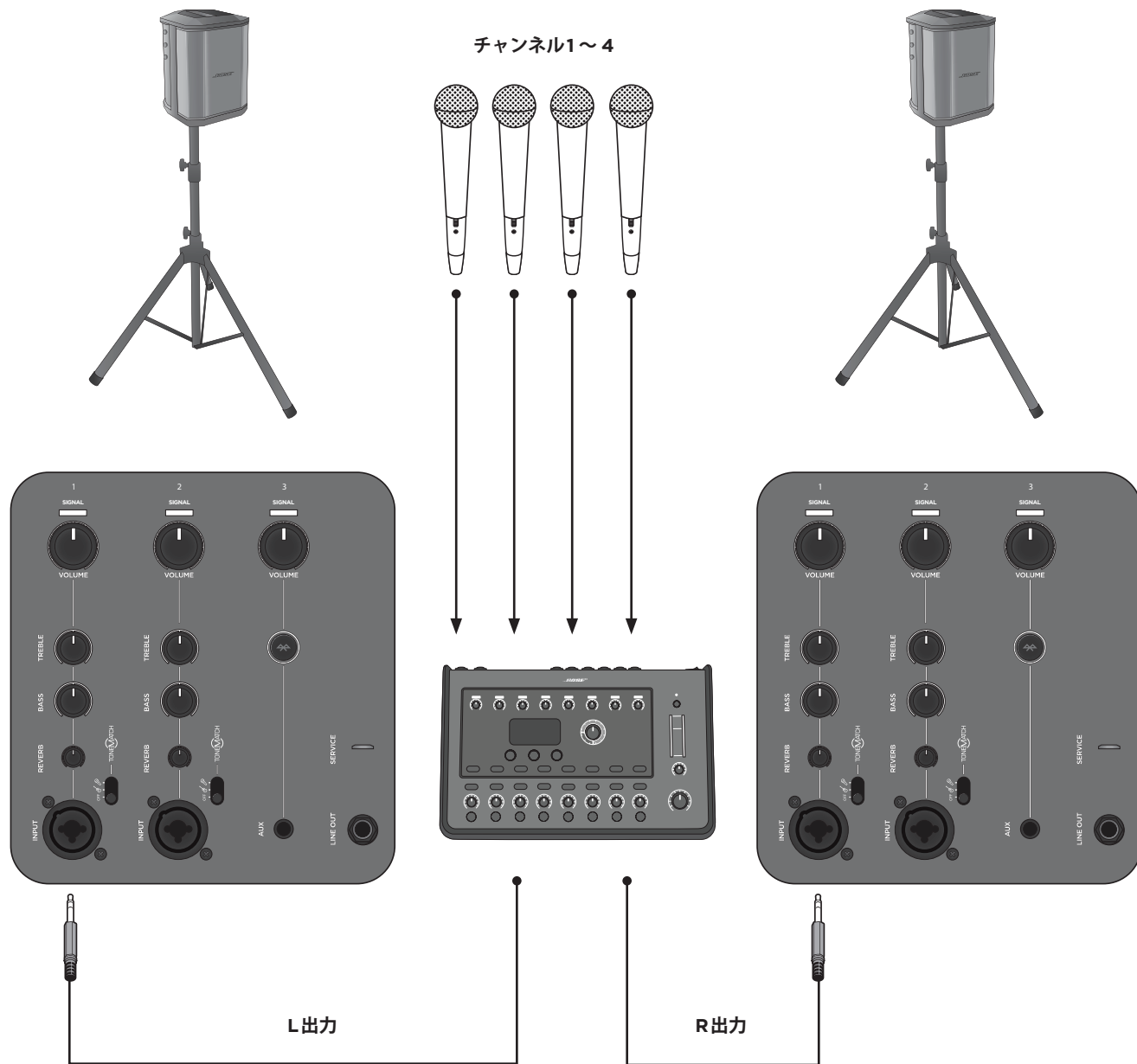
一般的なスピーカースタンドを使用すると、S1 ProをPAシステムとして使用できます。*Bluetooth®* ストリーミング再生を使用して音楽をワイヤレスで流しながら、マイクを接続して乾杯したり、歌を歌ったりします。



汎用PAとして使用する

PAシステムとして2台のS1 Proをミキサーと使用します。幅広く一貫したカバレッジにより、聴衆全員が部屋のどこにいても演奏を楽しむことができます。

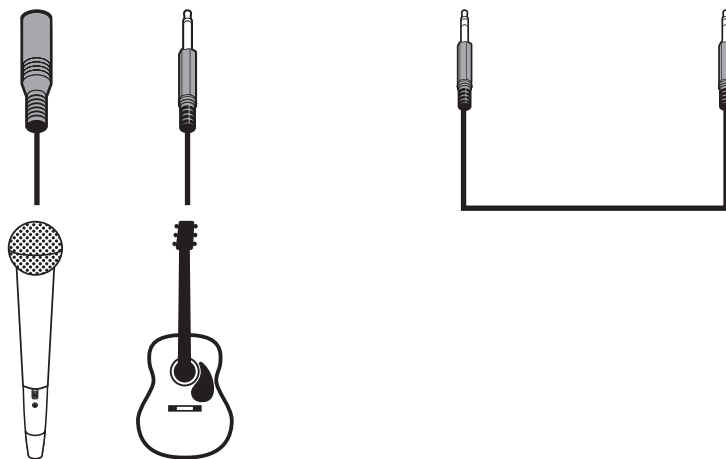
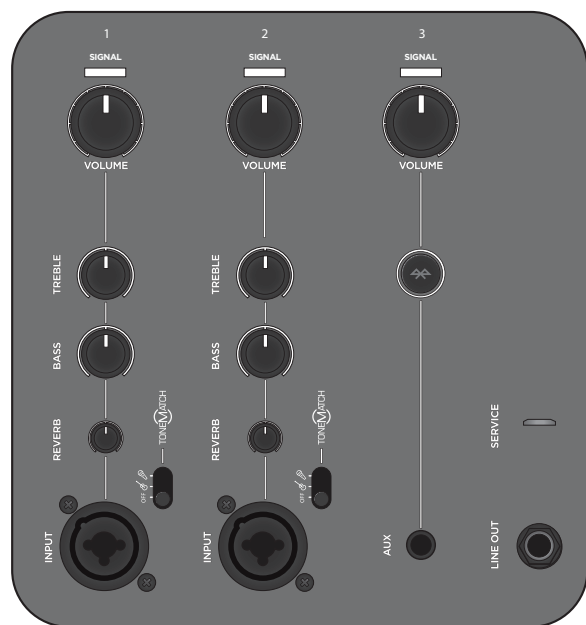
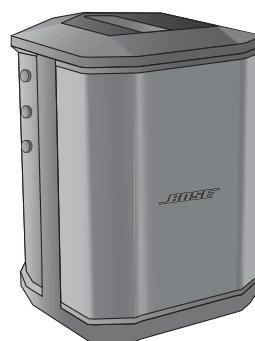
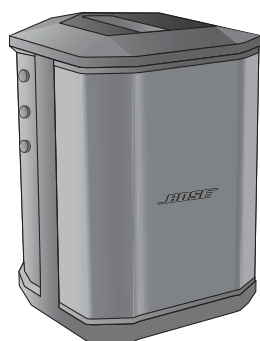
ステレオ



注: PAシステムとして使用する場合は、リバーブと ToneMatch® をオフにする必要があります。

デュアルモノ／デジチェーン

TRS¼インチケーブルを使用して、2台のS1 Proをモノラルでリンクします。1台目のラインアウトから、2台目のS1 Proに接続します。両方のユニットが目的の音量になるまで、チャンネルの音量を上げます。

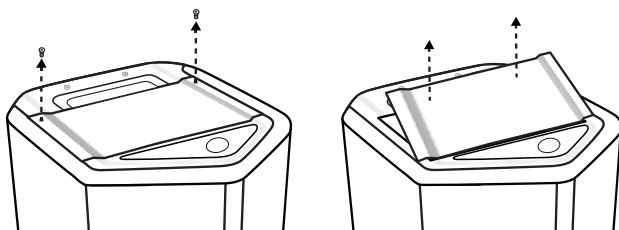


注: 2台目は、ToneMatch®と、リバーブをオフにして、トーンコントロールを中央の位置で保持します。

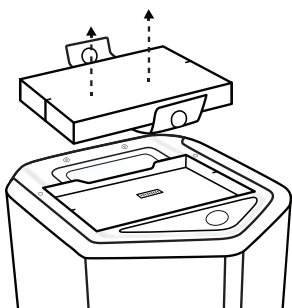
お手入れについて

バッテリーを交換する

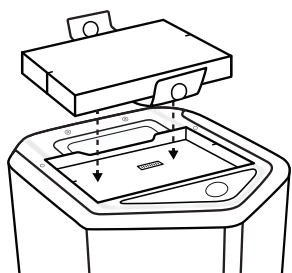
1. 電源をスタンバイ (⏻) に切り替えて、S1 Proの電源プラグを抜きます。
2. 2本のねじを緩めて底部のプレートを取り外します。



3. プルタブを使用してバッテリーを取り外します。



4. コネクターピンに合わせて、新しいバッテリーを挿入します。



5. 底部のプレートに戻し、ステップ2で外した2本のネジで固定します。
6. S1 Proを電源に接続します。
7. 電源スイッチを**オン** (⏻) にしてシステムの電源を入れます。

注: 交換用のS1 Batteryは、S1 Proの電源がオンになるまでスリープモードのまま維持されます。

注: S1 Batteryを購入するには、www.Bose.co.jpを参照してください。

S1 Proのお手入れについて

必ず乾いた柔らかいクロス（布）を使用して、製品本体を拭いてください。必要な場合は、スピーカーのグリルを掃除機で掃除してください。



注意: 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。

注意: 製品の近くでスプレーを使用しないでください。また開口部に液体をこぼさないでください。

故障かな？と思ったら

この製品のご使用中に問題が発生した場合は、まず以下の表の内容をご確認ください。問題が解決しない場合は、www.Bose.com/livesoundのオンラインヘルプをご確認ください。オンラインヘルプで解決策が見つからない場合は、ボーズのユーザーサポートセンターまでお電話で直接お問合せください。

問題	確認いただく項目
電源が入らない	お使いのACコンセントに電源がきているか確認します。ACコンセントに照明器具や他の機器を接続して動作するか試してください。ACコンセントテスターをお持ちの場合は、テスターを使ってコンセントの状態を確認してください。 バッテリーが保護モードへ移行している、あるいは放電している可能性があります。AC電源に接続します。
音が出ない	楽器が入力端子に接続されていることを確認してください。 音源の音量が上がっていることを確認してください。 S1 Proの音量が上がっていることを確認してください。 Signal/Clipインジケーターが点灯していることを確認してください。 楽器を他のアンプに接続して、音源が動作していることを確認してください。
電源LEDが赤になっています	赤色で点滅している場合は、バッテリーの残量が10%未満です。 赤色で点灯している場合は、製品およびサービスセンターまでお電話ください。
S1 Proに何も接続されていないと、わずかに雑音やノイズが聞こえます	ACコンセントテスターを使用して、ACコンセントの反転またはオープン（ホット、ニュートラル、またはグラウンド）コンタクトをテストしてください。 延長コードを使用している場合は、S1 Proをコンセントに直接差し込んでみてください。
楽器またはオーディオソースの音が歪みます	音源の音量を下げます。オーディオソースの音量を調整できない場合は、ご希望の楽器小売業者から「入力パッド」を入手してください。 異なるソースまたは楽器で試してみてください。
マイクが、フィードバックを起こします	音量を下げます。 直接スピーカーの方に向けないようにマイクの向きを変えます。 別のマイクで試してみます。 ステージ上のスピーカーやボーカリストの位置を変えてみてください。 スピーカーとマイクの距離を離してください。 ボーカルのエフェクトプロセッサを使用している場合は、それがフィードバックの問題に関係していないか、確認してください。
ペアリングされたBluetooth®機器がスピーカーに接続されない	パスコードが必要な場合は、正しい値を入力しているか確認します。 機器のBluetooth機能が有効であることを確認してください。 Bluetooth機器までの距離が離れすぎている可能性があるため、機器をスピーカーに近付けます。 可能な場合は、近くにある他のBluetooth機器をオフにするか、Bluetooth機能を無効にします。 スピーカーのメモリーを消去するか、Bluetoothボタンを10秒間長押しして新しい機器とペアリングしてください。Bluetooth機器とスピーカーを再度ペアリングしてください。 スピーカーの電源を切ってから、もう一度オンにして、再度機器をペアリングしてください。

お手入れについて

問題	確認いただく項目
複数のユニットをデイジーチェーン接続するとひどいハムノイズが発生します	¼インチ TRS ケーブルを使用していることを確認してください。¼インチ TS（ギター）ケーブルは使用しないでください。
スピーカーが充電されない	電源スイッチをオンまたはクイック充電に設定してください。充電中はスピーカーを使用しないでください。 電源スイッチをクイック充電ではなくオンに設定して、バッテリーを充電してみてください。 スピーカーを気温の低い場所に移動してください。 スピーカーをスタンバイモードで数時間放置してから、バッテリーを再充電してください。 スピーカーの電源プラグを抜き、バッテリーを取り出し、バッテリーの温度が下がるまで待機してからバッテリーを交換してください。

S1 Proの仕様

エンクロージャー	
エンクロージャー材質	ポリプロピレンプラスチック
仕上げ	テクスチャプラスチック
グリル	ブラックパウダーコーティングが施されたスチール
サイズ	
寸法（H x W x D）：mm	330 x 241 x 286
寸法（H x W x D）：インチ	13 x 9.5 x 11.2
質量	7.1 kg
バッテリー	
タイプ	充電式リチウムイオンバッテリー
充電時間	5時間（クイック充電で3時間）
再生時間	最大11時間



807173-0020

©2022 Bose Corporation, All rights reserved.
Framingham, MA 01701-9168 USA
www.Bose.com
すべての商標は所有権を保持する各社に帰属します。
AM807173 Rev. 03
2022年10月

